

2019年4月17日

輸送動向について（2019年3月分）

1. 輸送概況

今月のコンテナは、関東地区内の建設発生土輸送が順調に推移したことから、エコ関連物資が増送となった。

一方、農産品・青果物は、北海道産生育不良に伴う在庫薄の影響が大きく、九州産玉葱の生育順調により前倒し出荷が進んでいるものの、低調な荷動きとなった。また、顧客各社の物流体系の見直し等に伴って、特に九州発着において食料工業品、積合せ貨物、自動車部品などが減送となったほか、年度末の在庫調整に伴って化学工業品、化学薬品が前年を下回った。引越荷物についても、働き方改革による分散化が進展したことから、減送となった。コンテナ全体では前年比94.5%となった。

車扱は、石油が暖冬・少雪に伴って雪解けが平年と比較して早かったため、灯油を中心に需要が低調となった。その結果、車扱全体では前年比93.1%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比94.1%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	2,005	2,122	94.5%	20,273	22,437	90.4%
車 扱	776	833	93.1%	8,950	9,205	97.2%
合 計	2,781	2,955	94.1%	29,223	31,642	92.4%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	156	173	-17	90.4%
	化学工業品	178	193	-15	92.0%
	化学薬品	128	141	-13	90.3%
	食料工業品	315	332	-17	95.0%
	紙・パルプ	256	267	-11	95.9%
	他工業品	138	150	-12	92.2%
	積合せ貨物	261	268	-7	97.3%
	自動車部品	76	90	-14	84.7%
	家電・情報機器	39	40	-1	96.4%
	エコ関連物資	52	41	11	125.9%
	その他	406	426	-20	95.4%
	コンテナ計	2,005	2,122	-117	94.5%
車 扱	石油	521	571	-50	91.2%
	セメント・石灰石	136	132	4	103.4%
	車 両	78	80	-2	97.7%
	その他	41	50	-9	80.5%
	車 扱 計	776	833	-57	93.1%
合 計		2,781	2,955	-174	94.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)